

平成22年度第5回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨

[日時]平成22年8月10日(火) 19:10~20:55

[場所] 琉球大学医学部附属病院 管理棟2階・小会議室

[参加者] 13名: 上原弘美(患者)、田山未知(敬愛会中頭病院)、安次富睦子(沖縄県介護支援専門委員協会)、伊藤昌徳(ハートライフ病院)、上間 一(オリブ山病院)、喜納美津男(きなクリニック)、宮川真一(沖縄県立南部医療センター・こども医療センター)、笹良剛史(南部病院)、大城馨(沖縄県福祉保健部医務)、上田真(沖縄県立中部病院)、足立源樹(那覇市立病院)、増田昌人(琉大病院)、栗山登至(琉大病院)

[欠席者] 5名: 島袋恭子(敬愛会中頭病院)、大湾勤子(国立病院機構沖縄病院)、友利健彦(北部地区医師会病院)、中村聖哉(琉大病院)、棚原陽子(琉大病院)

[陪席者] 1名: 松澤智子(琉大病院)

<報告事項>

1. 「平成22年度第4回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会」議事要旨について
平成22年度第4回沖縄県がん診療連携協議会・緩和ケア部会議事要旨が承認された。
2. 「沖縄県緩和ケア研修会2010」日程について
 - ・那覇市立病院は、平成23年1月23日・30日に開催する
 - ・琉球大学病院は、2010年度開催分として来年10月までに開催予定
3. 「沖縄県緩和ケア研修会 in 石垣島」終了報告について
他職種間(医師、薬剤師、看護師など)でグループワークを行う際の進行の方法について考慮が必要。ロールプレイの際、ファシリテーターを医師役にするなどの提案があった
4. 日本緩和医療学会主催「緩和ケア研修会(豊見城中央病院)」について
2日目プログラム「消化器症状」と「治療・ケアのゴールを話し合う」の講義入れ替えを再検討する

<協議事項>

1. 「沖縄県緩和ケア研修会」単位型プログラム(案)について
 - ・単位型導入について全会一致で承認された
 - ・2分割単位制に決定
 - ・厚生労働省の定める単位の取得期限はない(厚労省への確認済み)が、沖縄県としては、A日程を受けた時から1年以内に、B日程を終了させる制限を設けることが承認された。期限の管理は個人に委ねることとする。
 - ・単位型プログラムの申請については、県から厚労省へ申請するとの報告があった
 - ・総括的単位管理は、基本的に県が担当する。並行して、それぞれの主催者も現状通り、管理し

ていく。ダブルチェックで管理ミスを防ぐことが目的。

・将来的にプログラムが細分化されることなどを考慮して、それぞれの講義に細かく単位を付けている。しかし、実際は、A 日程＝4 単位、B 日程＝4 単位という単位制を採用することが承認された。単位管理を容易にするため。

- ・原則的に A 日程を受講後、B 日程の受講が可能となる。
- ・上記を素案としてまとめて県へ提出

2. その他

- ・平成 23 年度日本ホスピス・在宅ケア研究会

8/7（土）キックオフミーティングが開催された。8/14（土）に、2 回目のミーティングが開催される予定

- ・上原委員より、患者会連合会主催、第 1 回患者会交流会が、8/16（月）、中部福祉保健所・3 階・研修室にて開催される（午後 6：30～）との報告があった。沖縄県が無償で会場を提供。
- ・増田委員からの報告

○12 月 12 日に県医師会医師会医学会主催でがんをテーマにしたシンポジウムが開催される

○10 月 16 日（土）名護市民会館にて、大城松健さん主催、「いきる力とは」をテーマにしたフォーラムが、開催される

○来年 2 月琉球新報主催、がんに関する市民公開講座開催。

- ・コ・メディカルの緩和ケア研修会修了者へ、県知事からの修了書が発行出来るかどうか、県の福祉保健部を通して確認を要請

次回開催日について（平成 22 年第 6 回部会：9 月 14 日（火）19：00～開催予定）